

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 翔っ子		
○保護者評価実施期間	令和7年2月14日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	2025/2/14		～ 2025/2/28
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者・関係機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者との個別面談及び日常の情報共有を積極的に行っている。</li> <li>関係機関との情報共有する為に、連絡ノートの活用で家庭内の様子や学校機関等での様子を確認。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報共有する前に事業所内での連絡・周知を徹底し、スピーディーな情報発信を行っていく。</li> </ul>
2	視覚支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉だけではなく、絵カードを利用して、自己決定がしやすい工夫を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な絵カードの検討及び作成、効果のフィードバックを行っていく。</li> </ul>
3	スペース及び活動範囲に応じた室内の応用	<p>現在の狭いスペースを活用するのに、間仕切りやマットの配置等でスペース確保に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供たちの反応を確認しながら、常に改善を行っていく。</li> <li>玄関スペースが手狭になっている為、拡張予定。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門職員体制による児童への十分な支援の確保が困難である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門職員の充足化</li> <li>専門研修を受講し、質を向上する。</li> </ul>
2	特性に応じた支援を行えるような場所の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が安心してできる環境が整備されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が落ち着いて利用できるよう、現在休止している事情所の再開</li> </ul>
3			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 翔っ子		
○保護者評価実施期間	令和7年2月14日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	2025/2/14		～ 2025/2/28
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者・関係機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者との個別面談及び日常の情報共有を積極的に行っている。</li> <li>関係機関との情報共有する為に、連絡ノートの活用で家庭内の様子や学校機関等での様子を確認。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報共有する前に事業所内での連絡・周知を徹底し、スピーディーな情報発信を行っていく。</li> </ul>
2	視覚支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉だけではなく、絵カードを利用して、自己決定がしやすい工夫を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な絵カードの検討及び作成、効果のフィードバックを行っていく。</li> </ul>
3	スペース及び活動範囲に応じた室内の応用	現在の狭いスペースを活用するのに、間仕切りやマットの配置等でスペース確保に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供たちの反応を確認しながら、常に改善を行っていく。</li> <li>玄関スペースが手狭になっている為、拡張予定。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門職員体制による児童への十分な支援の確保が困難である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門職員の充足化</li> <li>専門研修を受講し、質を向上する。</li> </ul>
2	特性に応じた支援を行えるような場所の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が安心できる環境が整備されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が落ち着いて利用できるよう、現在休止している事情所の再開</li> </ul>
3			